

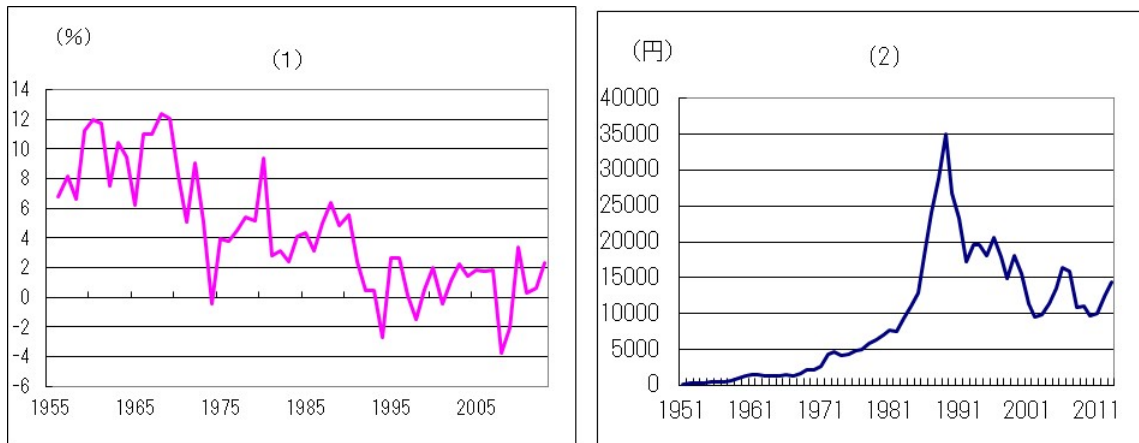
問題 1 30 点 (6 × 5 点)

(1) 次の文章のカッコに入る言葉を埋めよ。

- ・ (1) は経済学の父とも呼ばれ、主著『国富論』で市場機能を「見えざる手」と表現した。
- ・ 日本の高度成長期には、さまざまな新製品が発売され、需要が拡大した。そのうち、三種の神器と呼ばれるのは、白黒テレビ、(2)、冷蔵庫である。
- ・ 景気循環にはさまざまな種類があるが、最も周期が長いのが技術革新循環で、コンドラチェフの波と呼ばれている。周期はおおよそ (3) 年程度である。1900年代初めに自動車が登場し、1950年代にはコンピューター、1990年代終わりにはインターネットが登場した。
- ・ 経済学での貨幣の定義は、「(4) の高い金融資産」である。
- ・ 労働市場の分析で、ケインズは、賃金に (5) があることを見出し、これが非自発的失業の原因だと考えた。
- ・ シュンペーターは技術革新の力を重視し、単なる生産力の増大ではなく、馬車から自動車への転換のような、過去の常識を打ち破る役割を企業に求めた。企業のこうした役割を表わしたキーワードは「(6)」である。

問題 2 10 点 (2 × 5 点)

次の (1)、(2) のグラフの経済指標名を書け。



問題 3 25 点 (5 × 5 点)

次の (1) から (5) の文章に関係あるもっともふさわしい経済用語は何か。正解は一つとは限らないが、そのうち一つだけ書くこと。

- (1) 私は花子さんより料理もピアノも下手だが、どちらかといえば、私は料理の方が得意で、花さんはピアノのほうに得意である。この場合、私は料理に、花さんはピアノに専念したほうが、社会全体として生産量は増える。

(2) 新古典派の学派のうち、貨幣の役割を重視した学派。貨幣供給量が安定的に増加すれば、GDPも安定的に増加すると考えた。

(3) 経済政策の目標として、失業率を低下させることは重要だが、摩擦的失業など、どのような政策を使ってもなくすことのできない失業が存在する。

(4) 経済学では、子育ての費用を計算する場合、単に子育てにかかる費用だけを計算するわけではない。子育て選択せず、そのまま会社に勤めていたら得られたであろう所得も費用として計算する。

(5) 企業の株式総額が企業の資本設備などの再取得価格を上回る限り投資が行われるとする投資理論。

問題4 10点(2×5点)

国民経済計算の諸概念について以下の値が与えられている。

(1) 国内総生産、(2) 国民所得はいくらになるか。

最終消費支出	350	総固定資本形成	120	在庫品増加	10
財・サービス輸出	60	財・サービス輸入	40	固定資本減耗	30
間接税－補助金	20	海外からの要素所得の受取	20		
海外からの要素所得の支払	10				

問題5 (5点)

公衆が保有する現金通貨と預金通貨の額をそれぞれC、D、銀行部門が保有する支払い準備の額をRとする。

今、公衆の現金・預金比率(C/D)は0.3、銀行部門の支払準備・預金比率(R/D)は0.1であるとする。

ハイパワードマネーの量が1000兆円であるとき、公衆が保有する預金通貨の額Dはいくらか。

問題6 (5点)(実力問題)

- (1) 2014年の何月に消費税率が引き上げられたか。
- (2) 2014年の消費税引き上げ前の消費税率は何%か。
- (3) 2014年の消費税引き上げ後の消費税率は何%か。
- (4) 消費税が10%に引き上げられるのは、何年か。
- (5) 消費税導入時の消費税率は何%か。

問題7 (5点)

GDPを支出面からみると、大きく「消費」と「投資」に分けられる。「消費」と「投資」は概念上、どのような違いがあるか、説明せよ。

問題8 (10点)

授業での疑問点、感想などを書いてください。空欄の場合は0点です。